



PLANET
CINEMA
PRODUCE

OSAKA 大阪ストラット STRUT

製作 河野 清麿

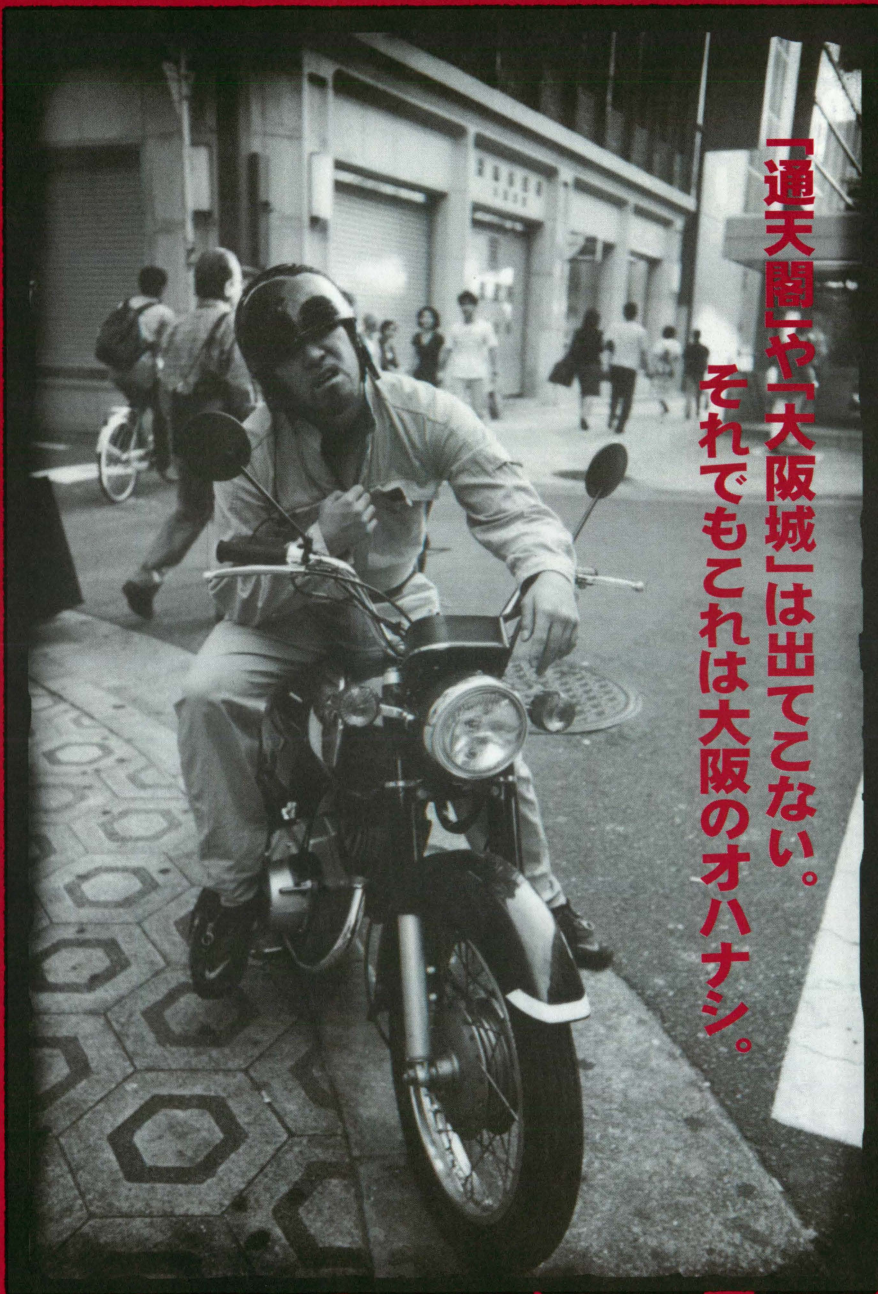
監督・脚本 中岡 秀樹

音楽 サキタハチメ

出演

高橋 ヒロ 三嶋 幸恵 川口 透
中山 正明 坪倉 賢治 十六針 刃太郎 (ほか)

「通天閣」や「大阪城」は出てこない。
それでもこれは大阪のオハナシ。



INTRODUCTION

ヤクザ、アキンド、ヨシモト、タイガース…。そんなイメージがこびりついた大阪が、映画やドラマの舞台になると、いつも奇妙な関西弁と演技がまかり通っている。「いまどき、『～でんなあ』なんて言う奴はおらん。」と大阪の人間はいつも思っているのだ。

じゃあ実際の大阪とのかようなギャップを描けば、面白いと感じたのがこの映画の始まりである。

STORY

98年夏。大阪。この街で便利屋『よごれ屋』を営む主人公ヒロ。オレンジのツナギに身を包み、今日もバイクで大阪の街を駆け抜けて行く。しかし、いい仕事は来ない。

ヒロを巡る人間関係は、どこかオカシイ。女子高生になりすまし、男とのトラブルはヒロにおしつけるメグミ。半年前のバイト情報誌を見てコロがり込んだヤマナカ。そして仕事を依頼してくる客はクセ者ばかり。

そこへ、父親と名乗る妙な中年男ヒライが現れる。ヒロの父親は、実家にいるはずなのに……。

プラネット・シネマ・プロデュースとは？

大阪府が青少年活動の一環として、90年に文化ホールと共に併設した「プラネット・ステーション」。96年にスタートした映像イベント『プラネット映画祭』では全国各地から公募されたインディーズムービーを上映しているが、上映だけではなく映画も作っちゃおう!というのがこの『プラネット・シネマ・プロデュース』である。スタッフ・キャストには、映像製作経験の有無を問わず様々な人材が集まり約80人が参加した。製作は映画祭プロデュースの河野清磨。監督・脚本・編集に新人の中岡秀樹。のこぎり演奏家であり、デュオ「はじめにきよし」で活躍中のサキタハチメが音楽を担当。大阪のラテン音楽が映画を彩る。

今回の『大阪ストラット』は『赤木カルタさんの夢』[97年監督/横田丈実]に続く、ロードショー公開第2弾である。

ストラットムービーの誕生!

□ STRUT【strAt】練り歩く。気取って歩く。

この映画の主人公ヒロの姿は、上の言葉とはほど遠い。はつきり言って振り回されている。それでもこの言葉をタイトルに使ったのは、「嬉しくても、悲しくても、メシ食ってても、もう少し寝たくても、親が事故っても…」何が起きても起こらなくても、全てを巻き込んで時間が進む様に、この映画そのものが「大阪」を突き進んで行くからである。

この映画にはエンドマークが出ない。それは、観客が上映終了後も、スクリーンには写らない人物の一人として時間を過ごし、各々の物語が自然と作られてほしいと思うからだ。まだまだ未熟で荒削りだが、こんな映画を僕は「ストラットムービー」と呼び、これからも作り続けていきたい。

監督・脚本/中岡 秀樹



OSAKA 大阪ストラット STRUT STAFF

PLANET CINEMA PRODUCE'99

製作/河野 清磨

監督・脚本・編集/中岡 秀樹

音楽/サキタ ハチメ

撮影/竹中 哲也、梅本 剛志

中岡 秀樹

記録/井手口 恵

美術/三嶋 幸恵、高橋 直子

スチール/梅本 剛志、川島 大伸

CAST

ヒロ/高橋 ヒロ

メグミ/三嶋 幸恵

ヤマナカ/中山 正明

ヒライ/川口 透

シマダ/宮本 悠也

援交サラリーマン/川島 大伸

ヒロ父/十六針 刃太郎

老人/坪倉 賢治

[1999 VTR カラー 58min]



何がおきても
ナニも
おきなくても
イヤでも時間は
過ぎて行く。



7/20(祝)~7/23(日)「大阪ストラット」&「ハヴァナイスデー」ロードショー

20/21/23日 1回目「大阪ストラット」&「ハヴァナイスデー」/14:00~ 2回目「大阪ストラット」&「ハヴァナイスデー」/16:30~ 2本立て500円

22日(土)「大阪ストラット」/16:00~ サキタハチメスペシャルユニットライブ/17:15~「ハヴァナイスデー」/18:30~ 終日1000円

7/22には中間作品で音楽を担当したサキタハチメ氏がスペシャルユニット「あこがれ連絡船」でライブを開催します。

会場:ジャングル本店1F・インディペンデントシアター【地下鉄堺筋線恵美須町駅1B西出口すぐ】TEL:06-6635-1777

